

EU Indicators

欧州経済指標コメント：6月英国労働統計

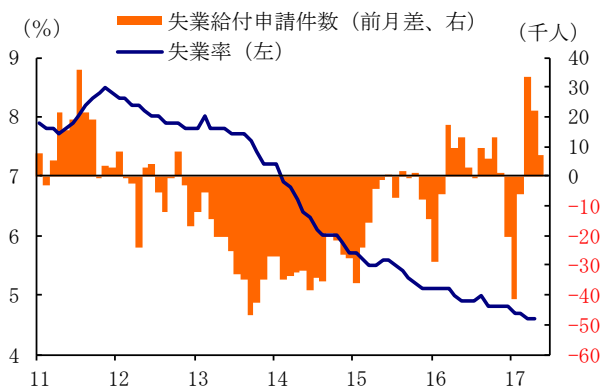
発表日：2017年6月15日(木)

～物価の下方硬直性と賃金の上方硬直性～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

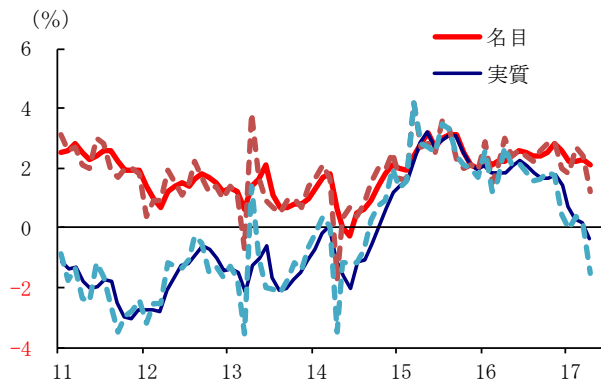
- 14日発表の英国の失業率（労働力調査）は4月から遡って3ヶ月の移動平均で4.6%と、1975年以来の低水準を記録した前月から不変。単月では、新たに計算に加わった4月値（4.62%）が同一サンプルの1月値（4.70%）を下回り、既往サイクルの最低水準を更新した。5月の単月値が4.38～4.67%の範囲内であれば（同一サンプルの2月値は4.76%）、来月の3ヶ月移動平均値は4.5%に低下する。
- 速報性のある5月の失業給付ベースの失業率は2.3%と前月から不変。2月の2.1%からやや上昇傾向にあるが、調査対象の変更により月毎の季節性が十分に除去されていない可能性が指摘されている。
- 全産業の週当たり賃金（賞与を含む）は4月から遡って3ヶ月の移動平均で前年比+2.1%と前月（同+2.3%）から上昇率が鈍化した。内訳は、賞与を除く賃金（同+1.8%→同+1.7%）、賞与（同+5.4%→同+3.8%）がともに前月から鈍化。4月単月では、月毎の変動が大きい賞与（同+4.9%→同▲5.8%）が減少したが、賞与を除く賃金（同+1.7%→同+1.8%）は僅かに上昇率が高まった。昨年4月の最低賃金引き上げの反動が生じている可能性もあるが、賃金の弱さが目立つ。労働需給の逼迫やインフレ率の加速にもかかわらず、名目賃金の水準が切り下がっており、実質賃金の目減りが顕著。

■英国：失業率と失業給付申請件数



出所：英国統計局

■英国：週当たり賃金・賞与（全産業、前年比）



注：実線は3ヶ月移動平均値

出所：英国統計局

■英国の失業給付・平均賃金

	2016						2017				
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
失業率（失業給付、%）	2.2	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.2	2.1	2.2	2.3	2.3
失業給付件数（前月差、千人）	-0.5	9.7	5.6	13.3	1.3	-20.6	-41.4	-6.1	33.5	22.0	7.2
失業率（労働力調査、%）	4.9	5.0	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6	—
（単月の失業率、%）	4.8	5.0	4.6	4.8	4.9	4.6	4.7	4.8	4.3	4.6	—
就業者数（前月差、千人）	174	102	44	-2	4	47	91	43	121	108	—
週当たり賃金（産業計、前年比、%）	2.5	2.4	2.4	2.5	2.8	2.6	2.2	2.2	2.3	2.1	—
賃金	2.2	2.3	2.4	2.6	2.7	2.6	2.4	2.0	1.8	1.7	—
ボーナス	6.6	2.9	0.8	1.0	6.1	4.5	1.7	2.3	5.4	3.8	—

注：労働力調査基準の失業率、就業者数、週当たり賃金は当月で終わる3ヶ月移動平均 出所：英国統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。